

石峰&抱月のふるさと『地域まるごと博物館』

波佐ネット通信

No. 149 2020.3.20

地域研究センター協議会

【参加団体】

西中国山村民具を守る会
波佐文化協会
能海寛研究会
ほたる湯館G・ゴルフ場

能海寛研究会機関誌『石峰』第25号発行

- 【特別寄稿】「遙かなる垃薩への道」 横田 禎 昭
- 【メッセージ】「能海寛研究会25周年を迎えて」 島田 雅 治
- 【メッセージ】「能海寛研究会25周年記念に寄せて」 大屋 俊 弘
- 【会員研究】「能海寛が120年前に目指した“チベットは今”」 中村 保
—変貌する中国南西 辺境はいずこ— 2019年10~11月
- 【特別寄稿】「Celebration for the Nomi Yutaka Institute」 Laurent Deshayes
- 【追悼文】「慧海研究に捧げた学研、高山龍三先生」 岡崎 秀 紀
- 【研究ノート】「女性チベット探検家 A.D.ネールと河口慧海の出会い」 岡崎 秀 紀
—カリンボン(1912)&東京(1917) —ネール書簡集『ALEXANDRA DAVID-NEEL .CORRESPONDANCE AVEC SON MARI 1904-1941』から
- 【会員研究】「能海寛の思想と科学」 植田 義 法
- 【会員寄稿】「満たされた過去」 村 上 香 世子
- 【会員研究】「能海寛生涯日録」 隅 田 正 三
- ◆ 第25回年次大会／第8回チベットセミナー報告
 - ◆ 浜田開府400年実行委員会/山陰信販 KK より受賞概報
 - ◆ 地域文化賞受賞記事(山陰中央新報/日本海新聞)
 - ◆ 能海寛研究会 25 周年記念事業の取組みについて
第 26 回年次大会/第8回チベットセミナー
能海寛研究会 25 周年記念式典/記念シンポジウム(記念講演・座談会)

表紙写真は、「能海寛と静子の写真」 能海寛と佐々木静子は、明治31年5月28日付入籍。6月29日に仏前結婚式を挙げた。結婚前は、婚約して二人で東京に行き、南條宅と井伊宅に分かれて寄留し、休日には入の頭公園、不忍が池、上野公園などでデートした様子がスケッチや歌に詠まれていることで、二人は、将来の事を深く理解し合っていたことが伺える。東京での5か月間と郷里での5か月間は、充実した期間であった。結婚記念樹として植樹したハクモクレンは二人のシンボルの記念樹(市指定天然記念物)である。

※ 表紙は、「能海寛と静子の写真」 2020.3.15 発行

新仏教徒運動の提唱者

『求道の師 能海 寛』

著者 隅田正三 発行所 波佐文化協会

判型 A4判(カラー56P)

価格 1,500円(税別)

※問合せ先:波佐文化協会

☎ 090-4697-2818 まで。

